

令和元年度第2回 ほっとおおつち運営推進会議報告書

開催日時	令和元年 7月 23日 (火) 14時～14時 30分
開催場所	ほっと おおつち
出席者 合計 10名	民生委員児童委員会長 1名、民生委員児童委員 1名、地域代表 1名 ボランティア団体 1名、家族代表 1名、地域包括支援センター1名、 役場介護班 1名、事務局 3名
<p>1 あいさつ</p> <p>(民生委員児童委員会長) 施設のよりよい運営の為、活発な意見をお願いします。</p> <p>2 協議</p> <p>◎利用状況について</p> <p>別紙資料にて、6月中は要介護3と要介護5の2名が内陸の施設に入所と、リハビリの為の入転院となり、利用中止になっている。7月は新規が1名(要介護2)あり、登録が26名。実利用者は入院が1名いる為25名となる。</p> <p>提供回数は、4月から減少がみられている。介護度が高くサービス回数の多かった方々が、利用中止になったことが要因と思われる。しかし、今まで訪問のみだった方が、通いに繋がったケースもあり、外出機会が増え良い方向に向いよかった。6月は5月に比べて泊まりが増えているが、独居者の体調が不安定で臨時の泊まりが増えたことによるもの。家族や本人との相談に応じて対応している。</p> <p>活動内容では、利用者に楽しんでもらえるように、色々なレクの情報を得て活動をしている。また、先月はデイサービスセンターはまぎくでの「安渡娘」による人形劇鑑賞に出かけてきたが、懐かしみながら、地域の方々とも交流でき、とても喜んでもらった。</p> <p>職員も資格取得や研修等に参加し、質の向上を目指し頑張っている。</p> <p>現在登録29名中26名で若干空きがある為、支援の必要と思われる方々がいたならば、地域からも情報をいただきたい。</p> <p>◎質疑</p> <p>Q、入院中の際の籍はどうなっているのか。</p> <p>A、入院中も2~3か月位は在籍可能だが、待機利用者の有無により、入院が長引いたり、今後の方向性によっても変わってくるため、相談しながら決めている。</p> <p>Q、利用推移について教えて欲しい。</p> <p>A、介護度の高かった方の利用度が高くなる。そのため、介護度が低くなると利用度が低くなるという傾向がある。</p> <p>Q、介護申請について申請時期について教えて欲しい。</p> <p>A、介護申請は申請した時期により、人それぞれ違う。介護保険被保険者証を確認してほしい。</p>	

◎意見

来週から暑くなると予報が出ている。高齢者はトイレを気にして水分を摂りたがらないと思うが、熱中症にならないように気をつけてほしい。

A、お茶やコーヒー、ポカリスエット等、色々水分を摂り揃え十分水分摂取してもらっている。今後も気をつけていきたい。

6 その他

◇7/26（金）14:30～大雨・土砂災害時避難訓練を実施予定。

本来であれば、避難準備情報が出た時点で閉所とし、家族へ連絡をとり、自宅へ帰るか、迎えに来てもらう対応をとるが、それができない場合は大槌学園に避難する事となる。今回は避難ルートの確認を兼ね、大槌学園まで行き戻って来る。

以前、一度大雨の際、夜間避難したことがあったが、交番前に水が溜まり、軽自動車を通るのがやっとであった。また、避難所は元気な利用者でも疲れてしまう。できれば、早めに行動し、家族のもとへ帰すことを優先する。

推進委員からは、大槌高校側から避難する場合は、急傾斜危険区域になっている為、交番側からの避難をした方が良いのではないか？経路をしっかりと確認した方が良い、と意見をいただき、後日役場の危機管理室へ確認することとする。

◇次回開催について

9/10 収穫祭を兼ねて運営推進会議を行いたい。利用者や地域住民と共に、ほっと農園で収穫した野菜で、昼食をとってもらう予定。すでに、じゃがいもやきゅうりの収穫があり、利用者へ提供し、喜んでもらっている。